

【国語】 < 小学校 第5学年 >

1 結果のポイント

- 「話すこと・聞くこと」について、話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力をみる問題では、正答率が90%を上回っている。
- 「書くこと」について、文章の内容に応じて小見出しを書く力をみる問題では、正答率が80%程度である。
- 表をもとにして書く必要のある事柄を選び、表から分かることとそれについての考えや理由を区別して決められた字数で書く力をみる問題では、正答率が60%を下回っている。
- 「読むこと」について、筆者が説明している内容について正しく読む力をみる問題では、正答率が80%程度である。
- 事実と意見の関係をとらえて読み、筆者の意見を要約する力をみる問題では、正答率が60%を下回っている。
- 「言語事項」について、正しい接続語を選ぶ力や、漢字を正しく読む力をみる問題では、正答率がすべて90%を上回っている。
- 漢字を正しく書く力をみる問題では、正答率が40%を下回るものがある。

2 結果の分析

(1) 話し手が伝えようとしている内容の中心を正しく聞く力をみる問題の例(「聞く能力」)

< 問題 > 四の一

佐藤さんが意見発表した内容はどのようなことですか。次のア～エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

- ア 大げさに書かれたチラシの広告のよくないことについて。
- イ チラシの広告ですばらしい景品がもらえたことについて。
- ウ お父さんにサッカーボールを買ってもらったことのうれしさについて。
- エ チラシに書かれたサッカーボールのデザインのちがいの説明について。

< 結果 > 正答率 96.9% (正答... ア)

< 分析 >

この設問は、佐藤さんが意見発表で伝えようとしている内容の中心を正しく聞く力をみる問題である。佐藤さんがスーパーでびっくりしたことや、くやしい思いをしたことと、意見発表の最後で述べた「ぼくは、こういうチラシはよくないと思います。」という意見をとらえることが大切である。平成18年度の類似問題の正答率と比較すると、6%程度の伸びが見られる。また、四の三の話し合いで発言された意見の内容を正しく聞く力をみる問題の正答率も90%を上回っていることから、話し手の意図を考えながら、話の中心を正しく聞く力が身に付いているといえる。

(2) 表をもとにして、書く必要のある事柄を選び、表から分かることとそれについての考えや理由を区別して、決められた字数で書く力をみる問題の例(「書く能力」)

< 問題 > 四

下の表は、岐阜県の小学六年生に、「近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。」という質問についての結果をまとめたものです。この表から分かることと、それについてのあなたの考えやそのように考えた理由を、五行以上七行以内で分かりやすく書きましょう。

< 結果 > 正答率 54.2% (正答...略)

< 分析 >

この設問は、「近所の人へのあいさつ」について、資料から分かることと自分の考えやその理

由を決められた字数で書く問題である。無回答は少なく、多くの児童が分かったことと思考や理由を記述しようとしていた。誤答としては、分かったことと思考や理由のうち、どちらかだけを書いたものが多くみられる。その要因として、資料から読み取った事実とそれに基づいて考えたことを区別したり、自分の思考の理由となる事柄を整理して選ぶことができなかったりすることが考えられる。昨年度の類似問題も正答率は同程度である。今後、自分の思考を明確にし、分かりやすく伝えるために、決められた条件の中で、目的や意図に応じて必要な事柄を集めて書く力を育てる指導をさらに充実させる必要がある。

(3) 事実と意見の関係をとらえて読み、筆者の意見を要約する力をみる問題の例(「読む能力」)

<問題> ㉓ の三

バナナのくきから紙を作ると、どんなよいことがあるのですか。次の□の中に「～こと」で終わるようにして、二つ書きましょう。

<結果> 正答率 58.2% (正答…「木を切る量をへらすことができる」「ハイチの国が豊かになる」など)

<分析>

この設問は、説明的な文章の筆者の意見をとらえ、要約する力をみる問題である。誤答としては、「バナナのせんいから、質のよい紙ができる」「ミラクルバナナという絵本になった」などの事実だけをあげているものが多かった。その要因として、バナナから紙をつくるという事実と結び付けて「木を切る量を減らすこと」「ハイチの国に産業が生まれ豊かになること」という筆者の意見を読み取ることができないことが考えられる。この結果から、事実と意見の関係や文章の構成に注意して筆者の意見をとらえ、要約する指導を充実させる必要がある。

(4) 4年生までに習った漢字を正しく書く力をみる問題の例(「言語に関する知識・理解・技能」)

<問題> ㉔ の(4)(5)

(4) いんしょうが強い。 (5) ざんねんに思う。

<結果> (4) 正答率 37.5% (正答…印象) (5) 正答率 61.3% (正答…残念)

<分析>

この設問は、4年生までに学習した漢字を正しく書く力をみる問題である。(4)の誤答例として、「像」など形の似ているものや、「員」「承」など読みが同じものが多かった。また、(4)(5)とも約20%が無回答であった。誤答の要因としては、児童が漢字の形、読み、意味を正しく理解できていないことが考えられる。漢字については、読むことに比べて書くことに課題がある。学習した漢字を文脈に合わせて繰り返し練習したり、授業で漢字を書く場や機会を多様に設定したりするなどの指導を一層充実させる必要がある。

3 分析を踏まえた指導の改善

(1) 指導計画の工夫改善

目的や意図、条件に応じて書く活動の位置付けを！

・「書くこと」では、自分の思考を分かりやすく伝えるために、決められた条件の中で、目的や意図に応じて必要な事柄を選んで書く力を育てることが重要である。そのために、年間指導計画に、日常生活や他の教育活動と関連させて、体験や調べたことを根拠にして自分の思考を書く活動や、図表やグラフ等を読み取って考えたことについて書く活動を位置付けるよう見直すことが求められる。また、単元指導計画においては、書いた作品や文章を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うことを通して、書くことの喜びや満足感を実感できるように改善する必要がある。

(2) 指導方法の工夫改善

話し合いの進め方を具体的に理解できる指導の充実を！

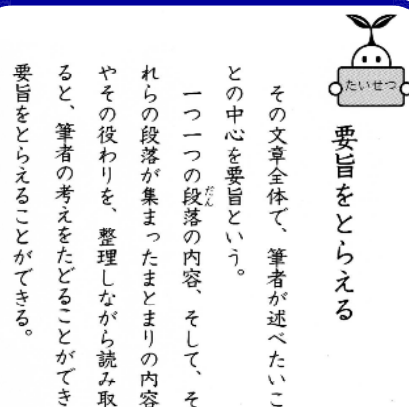
- ・「話すこと・聞くこと」では、司会者や提案者、参加者等の役割に基づいて、立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合うことが大切である。そのためには、目的を明確にして、それを意識しながら話題に沿って話し合う指導が必要となる。例えば、「意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう」の単元では、何を決めるのか、どんなことをはっきりさせればいいのかという、話し合いの目的を確かめた上で、目的に迫るために、何を、どういう順序で話し合うかを考える学習を行うことが大切である。また、どの児童にも司会を経験させ、実際の場面で司会者として提案の内容を聞き分け、整理することができるような指導を積極的に行う必要がある。・・・例

事柄を取捨選択、整理して書く指導の充実を！

- ・「書くこと」では、目的や意図に応じて書く事柄を整理することが重要である。そのためには、文章全体の展開を想定し、目的や意図、必要性や効果等を考えながら、全体を見通して材料の収集、選択、整理ができるよう指導の改善を図る必要がある。例えば「目的に応じた伝え方を考えよう」の単元では、伝えたいことの中心を考えて、取材する内容や方法を考えるとともに、取材した内容について、分かりやすさや重要度を考えて並べる学習を位置付け、効果や分量などを考えて図表にするなどして編集することが大切である。・・・例

目的や意図に応じて要旨をとらえる指導の充実を！

- ・「読むこと」では、説明的文章において、目的や意図等に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえることが大切である。そのためには、事実と意見の述べ方の違いに気付き、筆者がどのような事実に基づいて、どのような考えを述べているかを読み取ることが必要である。例えば、「要旨をとらえよう」の単元では、段落や段落が集まったまとまりの内容とともにその役割をとらえ、筆者の考えについてまとめて書く学習を位置付けることが大切である。



(教科書 5 年上 33 頁)

漢字に対する関心を深め、日常的に使う指導の充実を！

- ・「言語事項」については、児童が日常的に漢字を使う指導の充実が求められる。国語の時間に漢字の字形、筆順、読み方、意味等を理解する学習を通して、漢字に対する関心を深めるよう配慮する。また、語句調べの後に短文作りをしたり、授業終末に学習のまとめを記述したり、意図的に漢字を使ったりするなど、文章を書く機会を設定する。さらに、家庭学習においても、漢字を繰り返し練習するとともに、日記を書くなど、学習した漢字を使用することを指導していくことが大切である。

(3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

目的に応じて、主体的に学習に取り組む学校図書館の活用を！

- ・児童が学校図書館を日常的に利用できるように、図書の種類や検索の仕方等の利用指導を確実にを行うとともに、読書活動や調べ学習を意図的、計画的に位置付けるよう指導計画を改善することが大切である。その上で、本の紹介や調べ学習についての交流を通して、児童が図書館を活用するよさを自覚し、主体的に図書館を利用する習慣を身に付けることができるよう配慮する。

指導改善事例は、「岐阜県総合教育センターHP 教科指導等 学力向上PJ 授業改善(H16～H18) 及び授業改善推進プラン(H19・H20)」を参照する。[\(http://www.gifu-net.ed.jp/gec/\)](http://www.gifu-net.ed.jp/gec/)

例：平成 18 年度 学力向上PJ 授業改善 第 5 学年

鍵となる言葉を発言の中に入れて交流することで深まりのある話し合いを構築した実践

例：平成 20 年度 授業改善推進プラン 第 6 学年

複数の資料を関係付けて読み、構成を工夫して考えを書く力の育成に取り組んだ実践

関心・意欲・態度にかかわる指導改善の詳細については、P 87 意識調査結果を参照する。

小学校第 5 学年国語の授業において、児童が楽しいと感じるのはどんなときか。

第 1 位 教科書や資料の文書の内容に興味をもったとき

第 2 位 日常生活で使えそうな漢字を覚えたとき・正しく、整った文字を書くことができたとき

